

- 問1 地域の人々が、歴史ある建物や町並みをいかして「まちづくり」をする一番の目的は何ですか。
- 問2 古くから伝わる伝統産業を、多くの人に知ってもらい、これからも続けていくために大切なことは何でしょう。
- 問3 歴史的な資料や展示物を見学するために、地域にあるどのような場所へ行くのが効果的ですか。
- 問4 美しい姿で有名な姫路城を、ずっと後の時代まで残すために、1878年に国へ「このお城を守るべきだ」と意見を出した人物はだれでしょう。
- 問5 職人が長い時間をかけて修行をする一番の目的は何ですか。
- 問6 昔の村の開発の様子を調べるとき、なぜ「聞き取り」や「古い道具」など、いろいろな方法を組み合わせる必要があるのでしょうか。
- 問7 博物館へ見学に行くとき、最も大切なことは何ですか。
- 問8 歴史的な建物や町並みを守りながら、そこを訪れる人々に地域のよさを知ってもらうための仕事を何といたしますか。
- 問9 歴史ある建物を、長い間そのままの姿で残すために欠かせない活動を何といたしますか。
- 問10 伝統的な産業で、師匠から技を教わり、一人前の職人になるための長い訓練の期間のことを何といたしますか。
- 問11 博物館で見学した内容をしっかりと理解するために、展示物を見ながら行くと良いことは何ですか。
- 問12 その土地に古くから伝わる技術を使い、主に手作業で作られる産業を何といたしますか。
- 問13 現地調査を行うときに、必ず気をつけなければならないことは何ですか。
- 問14 古い建物や町並みを「文化財」として大切に残すことで、どのような良いことがあると考えられますか。
- 問15 姫路城が昔のままの姿で、日本で最初の世界遺産として残されているのはなぜだと考えられますか。
- 問16 伝統産業が、現代の工場での大量生産と大きくちがう点は何ですか。
- 問17 その土地にとって歴史的に価値があり、大切に守られている古い建物や町並みのことを何といたしますか。